

Ⅱ. 結果の要約

1 出生数は減少

出生数は 4,901 人で、前年の 5,238 人より 337 人減少した。

出生率（人口千対）は 5.5 で、前年の 5.8 を下回った。

合計特殊出生率は 1.33 で、前年の 1.39 を下回った。

2 死亡数は増加

死亡数は 14,535 人で、前年の 14,308 人より 227 人増加した。

死亡率（人口千対）は 16.4 で、前年の 16.0 を上回った。

死因別に見ると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患、第 3 位は老衰であり、全死亡者に占める割合は、それぞれ 22.6 %、16.7 %、13.7 %となっている。

3 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△ 9,634 人で、前年の△ 9,070 人より 564 人減少した。

自然増減率（人口千対）は △ 10.9 で、前年の△ 10.1 を下回った。

平成 10 年以降は、毎年死亡数が出生数を上回っている。

4 死産数は減少

死産数は 96 胎で、前年の 112 胎より 16 胎減少した。

死産率（出産千対）は 19.2 で、前年の 20.9 を下回った。

5 婚姻件数は減少

婚姻件数は 2,944 組で、前年の 3,193 組より 249 組減少した。

婚姻率（人口千対）は 3.3 で、前年の 3.6 を下回った。

6 離婚件数は増加

離婚件数は 1,466 組で、前年の 1,386 組より 80 組増加した。

離婚率（人口千対）は 1.66 で前年の 1.55 を上回った。

※表中の数値は、四捨五入による数値のため、端数において合計が一致しない場合がある。